

近年、様々な分野で医療が進化し、新しいお薬がたくさん登場しています。

その中の一つに、テプロツムマブ（商品名；テッペーザ）があります。なかなか新薬のお名前を覚えられない主任部長、このお薬は一発で覚えましたよ！だってテッペイ（哲平）って、なんて和風な（笑）。



テッペーザは、甲状腺眼症（バセドウ病眼症とも言います）の新規治療薬として注目されています。甲状腺眼症になると、患者さんはとても苦しい思いをします。甲状腺眼症では、眼や眼の周囲が腫れて痛み、眼球の後ろに圧迫感や違和感が出て、涙が止まら

ず、まぶたも腫れて結膜が充血し、眼球が突出して顔貌が変化します。甲状腺眼症は若い女性に多いので、顔貌が変わるのは本当に辛いですね。そして物が2重に見えたり（複視）、眼球が動かしくなくなったり（眼球運動障害）、もっと深刻になると視力が低下したり視野が欠けたりして日常生活に支障をきたします。

これまで活動期の甲状腺眼症の内科的治療として、ステロイドパルス療法（メチルプレドニゾロン 1000 mg/日×3 日間を 1 クールとして、3 クール実施）が主流でした。でも、ステロイドパルス療法は副作用が非常に多く、時に重篤な副作用（胃潰瘍、高血糖、結核などの感染症、骨粗鬆症の悪化、劇症肝炎や精神症状

など）が起こり、原則 3 週間の入院治療です。主任部長の 1 型糖尿病＋甲状腺眼症の患者さんも、様々な副作用に耐えながら入院で 3 週間のステロイドパルス療法を頑張りましたが、眼症状の改善は乏しく効果は限定的でした。

テッペーザは、このような難治性の甲状腺眼症の治療に使われます。インスリン様成長因子 1（IGF-1）受容体阻害剤であり、生物学的製剤の一種です。生物学的製剤とは、バイオテクノロジー（遺伝子組換え技術や細胞培養技術）を用いて製造された薬剤のことで、特定の分子を標的とした治療であり、点滴あるいは注射で体内に投与します。テッペーザも 3 週間毎に合計 8 回の点滴治療です。

「そんなすごい薬出たんやったらどんどん使ったらええやんか！」と皆様は思いかも知れません。ところが 100% うまい話なんてこの世にはなくて、やっぱりテッペーザにもいろいろな副作用があるんです。耳鳴り，聴力低下，下痢に加えて、高血糖になる方がいると報告されています。眼科の先生（甲状腺眼症は神経眼科の先生が担当します）が使うお薬で血糖値が上昇？ そうなんです。最近、より効果の強い生物学的製剤がどんどん開発されて、その副作用は多岐に渡ります。テッペーザで言えば、眼科と耳鼻科（聴力低下）と我々、糖尿病・内分泌内科が協力して治療に当たらなくては、とても使いこなせないお薬なのです。

2025 年 4 月に糖尿病・内分泌内科と眼科でテッペーザの合同勉強会を開催しました。テッペーザの効果や適応症例について学ぶと共に、副作用とその対応策

についても勉強しました。そして甲状腺眼症の患者さんを適切にすくい上げ、より効果的な治療に導くためには、どのようなワークフローでお互いが診療し、協力すべきかを2科で話し合いました。

主任部長は、このように各科の垣根を越えて協力することがどれだけ大事かを糖尿病センター設立の際に学びました。医療って、専門職なだけにどうしても縦割り・内向きになりがちなんです。でも、多職種がお互いの立場を理解した上で一致団結して治療に当たると、バラバラに奮闘していた時の何倍・何十倍もの良い治療が患者さんに提供されるのを身に染みて知っています。主任部長、糖尿病チーム医療を熟成させる過程で身に着けた調整力を発揮し、「フットワーク軽く、積極的に自分から他科の先生に声をかけて、当院オリジナルのワークフローを皆で相談して設定し、一致団結してより良い治療を患者さんに提供する」体制を整えました。

眼科の主任部長が勉強会後に「声かけて貰えて良かったです。勉強になりました。これからも宜しくお願い致します。」と仰って下さったのが嬉しかったです。

Webサイトのご案内

甲状腺疾患にかかわる目の症状を知るサイト

甲状腺疾患にかかわる目の症状を知るサイト
甲状腺眼症.jp

甲状腺眼症やその治療などの情報やセルフチェック、医療機関検索などをご提供しております。

① 見て学ぶ、甲状腺眼症

甲状腺眼症の基礎知識 治療について 生活について

甲状腺眼症.jp

甲状腺眼症.jp

<https://kojosen-gansho.jp/>



最近は、こんな Web site もあるそうです。甲状腺眼症の患者さんには大変有難いですね。

バセドウ病・橋本病・甲状腺眼症等の甲状腺疾患を治療中の患者さんのためのアプリ



サイログ
わたしの甲状腺日誌

は、甲状腺疾患と共に生きる患者さんの治療生活をサポートします

現在（いま）の記録

1. 現在（いま）の状態を記録

- ・眼の写真や症状を記録できます
- ・自分自身の確認だけでなく、医師に変化を伝えやすくなります



日々の記録

2. 日々の服薬を支援

- ・飲んだ薬の記録ができます
- ・飲んだら記録を習慣化させることで安心できる服薬を実現しましょう



3. 気になった症状の変化を記録

- ・甲状腺疾患はさまざまな症状が現れます
- ・どんなときにどのような症状が出るかを記録しておく、診察時に医師に相談しやすくなります



通院・診察時の記録と振り返り・共有

4. 通院前の症状の振り返りと診察での活用

- ・通院準備のリストを確認し、顔の撮影や相談メモの整理をしておきましょう
- ・状態に変化がある場合には医師に見せて相談することで、診察の助けにもなります



5. 検査値の記録と次回通院日の設定

- ・検査値の結果をグラフ化して振り返ることができます
- ・次回の通院日を設定すると予定日の通知が届きます



2025 年 5 月には、AKT 選択的阻害薬であるカピバセルチブ（商品名；トルカブ）について、当科と乳腺外科で合同勉強会を予定しています。手術不能または再発乳癌の一部の患者さんに使用する新薬だそうです、これがまた…副作用で高血糖になるそうです（笑）。主任部長、縦も横も斜めも上手につなげて、市立ひらかた病院が北河内地域に提供するすべての医療を、より良くするお手伝いがしたいです。外科の先生方が気持ちよく働けるよう、内科医としてサポートできるのは望外の喜びです。まだ誰も見たことのない遠くの景色を見るために、ゆっくりでも構いません、これからもひらかたのみんなと歩いていきます！